



子どもたちの声がこだまする

4月15日の宮崎中学校を皮切りに、今年度の自然教室がスタートしました。新緑の美しいカラマツ林に元気の良い子どもたちの声がこだまします。少年自然の家には子どもたちのこだまが良く似合います。来年の3月19日までに、小学校114校、中学校51校、約2万2千人の子どもたちを2泊3日で受け入れます。今年度はこの中に「農山漁村交流プロジェクト《こども夢学校》」という事業で、4泊5日で来る小学校が3校含まれています。4泊のうち2泊は少年自然の家ですが、後の2泊は周辺のペンションを利用し、地元の人たちと交流しながら少年自然の家では出来ない活動プログラムを体験し、自然や文化について、都会と比較しながら、その違いを学びます。今年度は3校ですが来年度はもう少し増える予定になっています。

また、夏休み期間中のボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会等の少年団体の利用予定は、現時点でほぼ満員になりました。利用者のそれぞれの活動プログラムが競合し、ここへ来てから活動場所の取り合いになったりしないよう、スムーズに快適に活動できるよう、現在、団体同士間の調整をする作業を進めています。

所長のひとりごと 18

三 井 一 則

梅雨の合い間にも気持ちよく晴れ渡る日がある。そんなときは朝からハルゼミの鳴き声が林の中に響き渡り、同時にカッコウや鶯の鳴き声まで聴こえてくる。合唱しているようににぎやかだ。編笠山からは爽やかな風が吹き降ろして、南アルプスでは沢筋にまだ残雪を止める甲斐駒ヶ岳を望むことができる。そんな中で退所式となれば幸運で、3日目の5年生の動きもまだまだ元気だ。

2泊3日の自然教室ではこの時期、時ならぬ雷と豪雨で驚かされることがある。そのためスケジュールの変更を余儀なくされることもあるけれど、様々な姿を見せる八ヶ岳の自然とそれを取巻く状況を通して、仲間とともに体験しながら学べたこともよかったのではないかなと思う。そこでも、やっぱり5年生は元気だ。

向かえた最終日に、青空の下で退所式を迎えることができれば、八ヶ岳の印象はぐっとよくなるのではないかなと思うけれど、こればかりは天気次第でいつも適うとは限らない。

そして、天候は翌日にはすばらしく回復するけれど、施設や設備はそうは簡単に行かないところが頭が痛い。

5・6月の事業

●受け入れ事業

5・6月の受け入れ事業は学校団体41、青少年団体13、主催事業4、グループ・家族31でした。これは昨年とほぼ同様の受け入れ実績ですが、青少年団体の利用が若干伸びています。

●自然紀行

5月は「山菜採りと八ヶ岳ハイキング」35名の募集でしたが59名の応募がありました。抽選で42名を選びましたが、参加者は36名でした。山菜採りをし、山菜料理を楽しんで頂きました。6月は「諏訪湖1周ウォークと入笠山登山」24名の応募がありました。17名が参加しました。入笠山では満開のスズランを観賞し、諏訪湖では湖面を渡る風を頬に受けながら元

気に歩いて、身も心もリフレッシュして頂きました。この事業は4月より多摩市民館前発着の貸切バスで送迎をしています。



諏訪湖 1 周

●森の探偵団

家族で参加し、八ヶ岳の自然と文化に触れながら、八ヶ岳への理解を深めて板だと同時に、家族同士の交流の環を広げてもらおうという事業で、全3回の第1回目を実施しました。28家族105名の応募がありました。抽選で14家族

54名に参加して頂き、山菜採り、農場での植え付け体験等をして頂きました。

●施設見学会

夏期に利用予定の団体の指導者に、新しいプログラムを紹介しながら下見を兼ねて頂くことと1泊2日で開催しました。4名の参加がありました。

●ふじみ星空観察会

地元の方を対象に、アストロハウスを公開して行う事業です。星座を実際の空でたどった後、大型天体望遠鏡で各種天体を見て頂きました。特に今年は土星の環が水平になっています。これは15年に1回起こる珍しい現象です。そんな土星を見て頂いたり、7月22日に起こる日食の説明などをしました。参加者は5月が50名、6月は31名でした。

ヤマユリの季節

八ヶ岳では、一年のうちで七月から八月にかけてが、一番花の多い時期です。所内の草本類の花だけでも六十を超える種が花期を迎えます。中でもひととき華やかなのがヤマユリです。神奈川の県花ですが、八ヶ岳に野生状態ではほとんどなくなってしまうしました。自然の家では、種から育てた株がずいぶん増えていきます。鹿やイノシシの被害も多く、移植するとウイルス病にかかりやすいなど、咲くまで目が離せません。七月の下旬頃咲き出すと所内は素晴らしい香りに包まれます。夏休みの団体利用が多い時期ですが、是非たくさんの花々をゆっくり愛でてほしいなあと思います。

(K)



事業紹介 2

主催事業

ここで主催事業というのは、富士見町開発公社が指定管理受託に当たって、川崎市より実施すべき事業として指定された事業のことで、「森の探偵団」と「自然探検隊」があります。

「森の探偵団」は、年度当初に募集した子どもを含んだ数組の家族に、年3回、2泊3日での八ヶ岳でのさまざまな自然体験を通し、自然や環境についての理解と、親子のふれあいを深めてもらうと共に、家族同士の交流を深めてもらうという事業です。今年は非常に多くの応募があり、やむを得ず抽選になりました。第1回目は5月に実施し、2回目は9月、3回目は12月に実施する予定になっ

ています。

「自然探検隊」は、子どもだけの参加で行う事業です。川崎と富士見の子ども各20名程度を募集し、川崎での活動、八ヶ岳での活動を通して、川崎市と富士見町についての相互理解を図ると共に、子ども同士の交流を通じて、川崎市と富士見町の友好都市関係を深める一助とすることを目標に実施しています。この事業は川崎市青少年科学館と連携し、川崎の子どもは



江ノ島新水族館で

青少年科学館が募集し、富士見の子どもは少年自然の家が募集します。年3回の事業で、6月は少年自然の家で募集した富士見の子どもが顔合わせを兼ね、バーベキューをします。7月には川崎へ出かけ、川崎の子どもと合流し、科学実験をしたり動物園に出かけたりします。10月には川崎の子どもが八ヶ岳に来て富士見の子どもと合流し、いろいろな自然体験をします。川崎と富士見の子どもとの交流は2回だけです、毎年友達が増えていくようになります。

感想文よ!

(原文のまま)

3日間ありがとうございました。
八ヶ岳の調理員さんが作るごはん

はすごくおいしかったです。ぼくは自然教室で友だちの大切さや自然の大切さなどいろいろなことを学びました。けがのなく楽しい3日間が送れてよかったです。ありがとうございました。

(中学校1年男子)



八ヶ岳での3日間で野外すいはん、キャンドルファイヤー、アストロハウスでの星のかんさつなど、他にも沢山たのしむ事ができました。初めての中学生生活最初の自然学習、とてもよい思い出ができました。3日間ありがとうございました。

(中学校1年女子)

催しもの案内

ハヶ岳ふれあいイベント

土曜日、日曜日、祝日にグループ、家族でご利用いただく方を対象に、次のようなプログラムを用意しております。参加費は無料ですが材料費は必要。参加申し込み等、詳しくはお問い合わせください。

★ネイチャークラフト

小鳥の巣箱作り、バードコール作り、白樺クラフト、焼き板クラフトの中から1つを選びます。ハヶ岳での思い出に、自分で作ったものをお土産にお持ち帰りください。

★星空観察

19時～20時まで、アストロハウスで満天の星空を見ながら折々の星座観察と、大型天体望遠鏡での天体観察をします。惑星、星雲や

星団などを見ることが出来ます。



植 樹

ハヶ岳自然紀行

少年自然の家に宿泊して、ハヶ岳の自然、地域、文化への理解を深めてもらえるように、毎月開催しています。4月から多摩市民館前発着の貸切バスで送迎しています。

●白駒池と北横岳ハイキング

秋の気配の濃くなってきた北ハヶ岳の自然に触れたり、満天の都会では見られない星空を観察し、

ハヶ岳の自然への理解を深めて頂きます。

・ 9月12～13日

●キノコ狩りと紅葉ハイキング

色づき始めた横谷峠を歩いたり、きのこ狩りやキノコ料理を楽しんで頂きます。

・ 10月3～4日

費用、内容、申し込み方法等、詳細

については、ホームページをご覧に

なるか、お問い合わせください。

(※8月は繁忙のため自然紀行はありません)



あ と が き

敷地内にある池に5月初めに水を張ると、1週間ほどでマツモムシ、コオイムシ、タイコウチなどの水生昆虫がやってきました。そんな水生昆虫を見つめる子どもたちの目はキラキラしています。少年自然の家の職員はそういう子どもたちを見るのが好きなのです。

川崎市八ヶ岳少年自然の家

〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原

12067-482

Tel 0266-66-2011

Fax 0266-66-2014

ホームページでも情報をお伝えしています。

<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>

指定管理者 (社) 富士見町開発公社